

3/16
未読



事故のない原発はない

福島の人見さんパリで危険訴え

【パリ＝島崎桂】パ
リで14日、東京電力福
島第一原発事故の影響
を話し合う討論会「5
年後の福島」が開かれ
ました。東電の刑事責
任を問う「福島原発告
白」で開かれた討論会「5年後の福島」で、福
島第一原発事故の影響を語る人見やよいさん
(壇上右から2人目) 14日(島崎桂撮影)

訴団」に参加する人見
やよいさん(54) 福
島県郡山市が講演。
今も残る放射能汚染や
健康への影響を示し、
「事故の起きない原発
はない。絶対に(原発
を)止めるという希望
を持っている」と訴え
ました。

人見さんは現在、ス
イス、フランス、英国、
ドイツの4カ国を歴訪
中。約3週間をかけて
各国で講演を行っている
です。パリでの討論会
は、脱原発を求める在

外邦人団体「よその
ネットワーク」と仏反
核団体「核脱却」が共
催し、在仏日本人やパ
リ市民ら約130人が
参加しました。

人見さんは講演の
中、自宅の庭の地中や
市の中心部に置かれた
ままの除染土や、一向
に低下しない放射線量
の現状を映像とともに
紹介。一方で日本政府
が進める避難解除や放
射能の「安全」キャン
ペーンに強い懸念を示
しました。

東電の刑事責任を追
及する訴訟では、先月
29日に勝俣恒久元会長
ら東電の旧経営陣3人
を強制起訴したことに
触れ、「東電の有罪判
決を見届けたい」と語
りました。

核物理学者のベルナ
ール・ラボンシユ氏
と、仏誌「シアンス・
エ・アフニール(科学
と未来)」のドミニク
・ルグリュ編集長を交
えた質疑では、会場か
ら「東電は周辺住民に
放射能漏れの情報を逐

次伝えているのか」
「原発を訴える人々
に日本政府からの圧力
はないのか」などの質
問が上がりました。
会場のあるパリ2区
のジャック・ブトール
長(欧州エコロジー・
緑の党所属)はあいさ
つの中で、「原子力は(エ
ネルギ問題の)誤っ
た解決策であり、可能
な限り早期に脱却すべ
きた」と述べ、主催者
来場者への謝意を示し
ました。